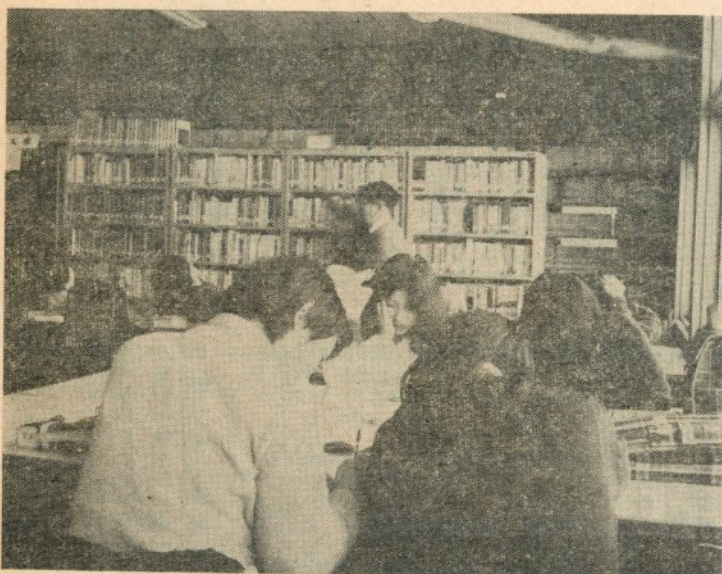


市立図書館を充実 献本運動にご協力を

市立「図書館」の内部



市では、市立「図書館」の充実をはかるため、二月一日から市民ぐるみの献本運動をおこなうことになりました。これは、人口五万都市にふさわしい最低限の蔵書を確認し、一般市民はむろんのこと青少年のためにも教養の場を広げようとするものですので、ご協力をお願いします。

市立「図書館」は、昭和四十一年四月一日に開設し毎年図書数も充実されてきていますが、現在一万四千十冊を蔵書しています。しかし、人口五万人以上の五所川原市としては、文部

省の基準によりますと少なくとも三万冊の蔵書が必要とされており、現在市立「図書館」で蔵書している図書は、総記から文学まで七千七百五十冊、郷土資料五百三十冊、鶴又文庫五千冊、児童文庫六百五十冊、茶道文庫八十冊、となっておりますが、とくに専門書の不足が目立っております。このほど、図書館を比較的多く利用される学生、生徒を対象にアン

省の基準によりますと少なくとも三万冊の蔵書が必要とされており、現在市立「図書館」で蔵書している図書は、総記から文学まで七千七百五十冊、郷土資料五百三十冊、鶴又文庫五千冊、児童文庫六百五十冊、茶道文庫八十冊、となっておりますが、とくに専門書の不足が目立っております。このほど、図書館を比較的多く利用される学生、生徒を対象にアンケート(感想文)を募りまとめてみたところ、圧倒的に専門書の不足を指摘し、ほかに「古文書などの歴史書や郷土資料をもっとふやしてほしい」と希望しております。

市では、毎年予算に計上して図書数を増加し、有志の方からの寄贈もあり充実に努めてはおりますが、一挙に充実するのは困難な状況にあります。

このため市では、皆さんのご協力で献本運動を推進することになり、昨年十一月末に献本運動の実行委員会を組織し準備をすすめた結果、近く実行委員会の方々が各地域を巡回し、献本のお願いがあがりますので、運動の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださるようお願いいたします。

なお五所川原ロータリークラブがこのほど書架五基を図書館に寄贈されたほか近く二百冊ほどの図書を寄贈されることを申し出ております。

市政ダイヤル

その日の

行事や予定は

でんわ 4321

(青森県)

五所川原市広報

市政ニュース

昭和49年1月15日

320号

1部4円

発行所 五所川原市役所



大切に保存しましょう

初春の風が雪原をわたり
きらきらと太陽が輝やく
気をうかがっていた手がさつとあがる
鬼神お松の大ダコが
しっかと両手にかかえられると
美しい色彩が雪影を染め
風がぐうっとタコをあおる
さあいまだ
糸を張って走る ぐんぐん走る
タコはすねたように揺れながら舞い上る
こどもの歓声がどつとあがると
虎の威にあやかるように一声
ウオーンとほえて風に乘った

義援金は七十四万円に ご協力ありがとうございました

「皆んなで明るいお正月を」スローガンに昨年十二月一日から行なわれた歳末たすけあい運動は、皆さんのご協力により前年を上廻る六十件、七十四万三千二百一十一円の義援金と六件、二百四十四点の義援品が寄せられました。

このなかには民謡、手踊りの愛好団体である市内湊のちどろ舞踊会（佐々木伸雄会長）が歳末たすけあい芸能祭を開いた際の純益金十四万七百三十五円も含まれています。

このお金と物品は、生活に困っている家庭や、長期入院療養者、施設入所児童

などにそれぞれ配分され大変喜ばれました。暖かいご協力にお礼を申しあげます。

▽義援金関係

松島町四丁目末広会、七



市長に純益金を手渡すちどろ舞踊会の代表（左）

- 和高校、第一千鳥町町内会、中平井町内会、葛西穂、平和町婦人部、森羽紙業、県医薬品配置協議会西北五支部、第一柳町町内会、鎌谷町町内会、本町町内会、新町町内会、寺町岩木町町内会、泉谷正志、島田克孝、飛島鶴代、川端町
- 町内会、日本敬神崇祖自修団、市ボーリング愛好会、本造中学校川除校舎、松島町四丁目町内会、岩谷善一、敷島町町内会、市ライオンズクラブ、木造高校稲垣分校、五所川原土木事務所、ちどろ舞踊会、上平井町町内会、小野キャウ子、幾島町町内会、江良善五郎、五所川原中央自動車学校、五所川原印刷従業員一同、新生互助会、毘沙門小学校、藻川小学校、裏千家淡交会、青年部五所川原支部、東北電力労五所川原分会、末広新宮町町内会、葛西進一、東雲町町内会、藤田クリーニング従業員一同、栄小学校、布屋町町内会、鶴谷ヤナ、田園調布町内会、三浦玉喜、市役所ハドル会、板柳町連合青年団、七ッ館小学校、五所川原商業高校校友会一同、元町町内会、平和町町内会、白生会胃腸病院、田町栄町町内会、市公営住宅入居者選考委員会、旭町町内会、成田房、柏原町町内会、小曲部落会（敬称略）
- ▽物品関係
平和町婦人部、県医薬品配置協議会西北五支部、石塚音次郎、長尾政五郎、たん吉、高島徳広（敬称略）

花と緑と 小鳥のひまわり

この草をはれ物にはって毒を散らすか、膿ますのに使うところから「毒たむ草」「毒を溜める草」ということになり、和名ドクダミの由来となったのである。

実際津軽地方ではこの草をはれ物にはってうますのを使っていたし、鼻病に薬

をもんで鼻こうに入れていたことを覚えてる。また利尿薬として用いたり、風邪薬として重用されている。

ドクダミ

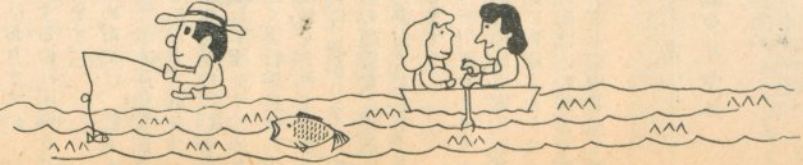
（ドクダミ科）

こんなところからこの草を「十葉」あるいは「重葉」とも呼んでいる。黄昏れて、十葉の花、た

毒だみや、十文字白き夕まぐれ、秀野

の句でもわかるように、この花の四弁は純白そのもので、自然愛好者の心をとらえる。この四弁は、植物学的には花弁ではなく「ほう（花の基部につく葉）」であることを付記しておきたい。五所川原を中心とする津軽では、この草を傷つけると強烈な悪臭を出すので「犬の屁」と俗称している。

青い海、澄んだ川をとりもどすために



くらしと下水道

下水道ができる（その3）

- (1) 家庭や工場からの汚水は地下に埋めた下水管によって流れて行きますから悪臭がなくなります。
- (2) 下水溝や水路がなくなりますから道路が広く使用でき、下水溝の清掃がなくなります。
- (3) 水洗便所となるので、いやな臭いのくみ取り便所から解放されますから日常生活が快適となります。
- (4) 雨水の水はけがよくなるので低地での水たまり、床下の浸水や宅地内の湿気が取り除かれ、家屋が長持ちします。
- (5) 例年の行事である堰の清掃、泥上げ時期に始まるトラブルや市街地下流域の水田、河川に対する汚水の公害がなくなります。
- (6) 「カ」や「ハエ」の発生がぐんと少なくなることはもちろんのことですが伝染病の発生もずっと少なくなります。



沖繩県スポーツ少年団との 交流派遣団に参加して

東京五輪を契機に、昭和四十一年から始められた、青森県スポーツ少年団と、沖繩県スポーツ少年団とのリーダー派遣交流は、今回で第七回をかぞえ、県内の十五人のリーダーと共に、昨年十二月十七日から十日間の日程で、生まれてはじめて待望の沖繩県を訪れることができました。

最南端の海岸一帯は、第二次世界大戦の激戦地であった処で県立第一高女と師範学校女子部の生徒百四十三人と職員十五人の英霊を合祀したひめゆりの塔や摩

文仁丘に眠る戦士五十余人の慰霊の塔が林立している戦跡公園です。そこには岩木山の石で造った青森県のみちのくの塔もあります。

また、南部には、東洋最大の大鐘乳どうである二千三百五十窟の玉泉どうもありました。

中部には、那覇市に次ぐ沖繩県第二のコザ市があり我々が四泊しました。三沢野崎スポーツ少年団

岩崎 明彦 君 (五農高二)

市のように米軍基地が多いため異国情緒があり、周辺には嘉手納飛行場や本土の子ども達、ロータリークラブ、ライオンズクラブなどの援助で出来た子ども達の国があり、我々はこの記念樹を植えてきました。

海洋博会場となる北部は海が美しく七色の変化を見せるといわれ、自然の海中を普断着のままで観察できるといふ海中展望塔があ

り、水面下五層から見たサングシヨウの林中を熱帯魚が赤青黄とカラフルな動きを見せていました。が、工事はまだ地ならし程度であまり進んでいないようでした。

沖繩県のスポーツ少年団は、五所川原市のスポーツ少年団と反対にサイクル少年団とか、柔道スポーツ少年団とか、単位種目的団体が多く、子ども会と併立しているような地域多種

目的団体は二、三しかありません。しかし、毎週一回の例会をもち、しかも父兄たちも必ず参加しているというところはすばらしいことだと思えます。にもかかわ

らず、制服姿の高校生が夜の歓楽街をぶらついているなど、青少年の非行も多いそうです。

僕は今回の交流を通して得たよい経験を、これから五所川原市スポーツ少年団活動に、リーダーとして

おおいに活かしたいと思っております。

農業者 脱退一時金は 年 金 一月から支給されます

「脱退一時金」 四十一年一月から給付—
次の要件のすべてに該当する場合、資格喪失者に支給されます。

- (一) 農業者年金の被保険者の資格を喪失したこと
- (二) 資格喪失日の前日において資格喪失日の属する月の前月までの被保険者期間にかかると、被保険者期間が三年以上であること。(領収印の日付が資格喪失日の前日以前であること)
- (三) 資格喪失者が経営移讓年金にかかる受給権者でないこと
- (四) 資格喪失者が六十五歳に達することにより、農業者老齢年金が支給され

る者でないこと
(注) 脱退一時金の支給を受けた場合は、その額の計算の基礎となった被保険者期間は、再び農業者年金に加入しても被保険者期間に合算されません。支給を受けなかった場合は合算されません。ただし、出かせぎなどで厚生年金などに加入したことににより資格をそう失し帰ってから再び農業者年金に加入する場合、いままで加入していた期間と再び加入してから六十歳に達する日の属する月の前月までの期間とを合算し二十年(高齢者の場合は五年から十九年)に満たないときは、再び加入することにはできません。

保険料の納付

昭和四十九年度に市で発注する土木工事と建築工事、その他工事の指名を受けようとする業者は建設省

指名願いの提出 は二十八日まで

指定する様式に従って、二月二十八日(木曜日)正午まで、市建設課庶務係へ提出してください。
なお、工事現場で働く人々が退職金をもらえるよう建設業退職金共済制度に加入するようにしてください。

住宅用地の申告 告、一月末日

市税務課は、いま償却資産と住宅用地の申告を受け付けております。
事業の用に供することができる構築物(家屋を除く)、機械装置、車両(自動車を除く)、工具、備品などを所有している者は償却資産の申告をしなければなりません。
四十八年中に宅地を取得し、または田、畑などから宅地へ地目変更し、それを住宅用地として使用している者と、四十八年中に非住宅用地を住宅用地に、または住宅用地を非住宅用地に用途変更した者は住宅用地の申告をしなければなりません。

申告書の提出期限は、いづれも一月三十一日となっております。もし、申告を怠りますと不利な取り扱いを受けることもありますので期日まで申告してください。

「ギター教室」 毎週木曜日

- ▽期日 一月下旬～三月上旬 毎週木曜日午後七時～九時
- ▽場所 市中央公民館 (電話⑤二三五二番)
- ▽対象者 勤労青年(男女)でクラシックまたはフォークギターを有するもの
- ▽経費 無料
- ▽募集人員 十五人
- ▽しめ切り 一月二十二日 (火曜日)
- ▽講師 成田正治氏(上原げんと氏の師)

おしらせ



施設
△資格 十八歳～四十五歳までの男子
△待遇 月収十七万円～十八万円
△勤務地 国土地理院東北地方測量部

農業基本調査

二月一日現在で

県の農業基本調査が二月一日現在で実施されます。この調査は、県統計調査条例と県農林水産調査規則に基づいて行なわれるもので、本県の農業行政を推進していくうえで必要な基本的な資料を得るために行なう重要な調査ですので、調査員がうかがいの際は農家の皆さんのご協力をお願いします。

明日を開く 映画の会

入場は無料です
△とき 一月十九日(土)午後二時から
△ところ 市民文化会館ホール

測量助手を募集

四十五歳までの男子
市では昭和四十三年から国土調査法にもとづく地籍調査事業を実施してまいりましたが、この事業のものである三角点の紛失が多いため、測量助手の募集をしています。△業種 全国の国家三角点

研修生を募集

願書は二十五日まで
農林省 農さん園芸局では、四十九年度の果樹農業機械化研修生を募集しています。

△定員と応募資格
定員は一研修所当たり二十五人。応募資格は、高校卒またはこれと同等以上の学力を有すると認められる二十五歳未満の男子で、研修終了後果樹農業に従事する見込みが確実である者。
△応募の方法
受講願書三部に所要の事項を記入し、最終学歴の学校長の内申書、戸籍抄本、健康診断書を添えて一月二十五日まで市農林課へ。詳しくは、当課へおたずねください。



「わが家の家計簿」

体験談を募集します

△内容 家計簿をつけ始めた動機や記帳上の苦心談など、家計簿記帳に関するものなんでも自由に書いてください。
記帳経験の短い方でも、予算生活に至らない方でも、気軽に「応募ください」。

表を添付してください。
原稿には、応募者の住所、氏名、職業、年齢、同一家計でくらす家族名(応募者との続柄、年齢、職業、就学状況など)家計簿記帳年数と連絡電話番号を記載してください。
封筒の表面に家計簿体験談と明記してください。
▽しめ切り 二月二十八日
▽入選発表 六月中旬。入

たより きますか

市の出かせぎるす家庭の巡回相談は、12月20日の小曲を皮切りに10日間の日程で開かれています。巡回相談は、市の出稼対策室と地元の出稼相談員、婦人世話人があるす家庭を訪問し、るす家庭での苦情、困りごとなどの相談に応じようというもので今年が4年目になります。初日の小曲では、消防本部の火災予防係も加わり、45軒ほど巡回し、炊事場のガスコンロを点検したり、消火器の使い方を指導するなど、防火態勢を呼びかけ、翌21日の長富では、「出かせぎ先から便りがきているか、身体の具合はどうか」と親身の呼びかけにるすをあずかるおとしよりの顔もほころびます。なお、巡回相談は1月29日まで10地域のおよそ800戸を対象におこなわれています。

剪定の講習会

二十二日毘沙門で
△主催 新広域農業センター
△期日 一月二十二日(火曜日)
△時間 午前九時三十分
△集合場所 新広域農業センター前(毘沙門上熊石)
△講師 赤平所長

生活環境 パトロール本部



(5) 1414

選者に直接通知します。
▽送り先 青森市長島、青森県企画部広報課民課内、(郵便番号〇三〇)青森県貯蓄推進委員会